

実施体制及び国内外のネットワーク

提案主体名	松本市、株式会社三菱総合研究所
提案プロジェクト名	健康寿命延伸都市・松本の創造に向けたプラチナイノベーションによる新需要創造
① 実施体制(構成主体と役割分担) ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
<p>松本市及び松本地域における大学、まつもと工業支援センター、その他医療、福祉、介護、環境、IT、環境関連企業等と、地域外からの参画企業、三菱総研とコンソーシアムを組んで実施する。また、松本市においては、庁内にプロジェクトチームを設定する。それぞれの役割を以下に示す。</p> <p>●役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市: 本事業の企画立案及び実証実験を行う地域側の事務局、地元企業とのコーディネータ、実証実験の評価・検証 ・三菱総研: 本事業の企画立案及事務局、松本地域外の企業とのコーディネータ。実証実験の評価・検証 ・その他の団体・機関・企業: 実証実験に参画し、新たな製品開発・サービス開発をコンソーシアムを組んで実施する。 	
② 実施体制(プロジェクトマネジメントのための具体的な方法論) ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
<p>「健康寿命延伸都市・松本」と「プラチナ社会の実現」は基本理念を共有している。科学技術分野における豊富な情報をベースに、先端科学分野のイノベーションやビジネス推進に積極的に取り組んできた三菱総合研究所と、基礎自治体として健康寿命延伸都市・松本を都市ビジョンとして健康づくり、生活の質の向上に取り組んできた松本市が協力体制をとることにより、「産業の集積」がもたらす新しいサービスの提供とその効果を検証するための「実証の場」が一体的に可能となる。この目的を達成するために、〔(仮称)松本地域健康産業推進協議会〕を23年度中に組織化し、運営を開始する予定である。協議会構成員としては、信州大学、松本大学、長野県テクノ財団アルプスハイランド地域センター、松本商工会議所、松本機械金属工業会、その他個別企業などを想定している。</p>	
③ 国内外のネットワーク(国内外のベストプラクティスの相互交流のための具体的な方法論) ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
<p>内外の連携を図るために、23年度中に「世界健康首都会議」を開催する(松本市において予算化済み)。この会議の目的の1つは、健康寿命延伸都市構想を内外に発信していくこと、2つ目は、この構想を持続可能な形で推進するための、産業化などによって支える仕組みづくりについて検討することである。この中で、スウェーデンからの出席者の方には、「世界健康首都松本へ、持続可能な成長と健康を目指すスウェーデンからの提案」と題しての基調講演を依頼しており、国内の先進事例に関しても紹介の場を持つ予定である。</p>	
④ 国内外のネットワーク(国内外の都市・地域との連携を強化するための具体的な方法論) ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	
(同上)	

※別紙様式3は、可能な範囲内でご提案願います。